

公益社団法人 日本プロスキー教師協会

第46・47期アルペンスキーデモンストレーター選考会
第46・47期スノーボードデモンストレーター選考会
第46・47期テレマークスキーデモンストレーター選考会
SIAプロスキー教師コンテスト2024
第6回ジュニアスキー技術コンテスト
会員親善GSL



2024年4月2日（火）～4日（木）
長野県・一ノ瀬ファミリースキー場

ver.2024.3.31

第46期・第47期アルペンスキーデモンストレーター選考会

第6回ジュニアスキー技術コンテスト

競技委員会役員

<ジュリーメンバー>

T D：久慈 修
主 審：穴田慎一
副 審：伊藤幸治
競技委員長：横元信明

<運 営>

セクレタリー：江畑昌英
スタート係：湯下 大地
山之内 弘
吉岡郁栄
ゴール係：穴田慎一
記録・計算：永田結子
横尾恵里
放 送：高塚 彩
榊原菜穂子
撮 影：近藤 洋

<審 査 員>

主任審査員：松居文智
審 査 員：山本 治
佐々木常念
久慈直子
栗原立人
藤本剛士
高本 稔
可児 徹

<設 営>

一ノ瀬ファミリースキー場

<式典>

高塚 彩 榊原菜穂子
事務局

<救護>

一ノ瀬ファミリースキー場
パトロール

<事務局>

里中英二
町田知哉
鈴野絵理

第46期・第47期スノーボードデモンストレーター選考会
第46期・第47期テレマークスキーデモンストレーター選考会
SIAプロスキー教師コンテスト2024☒
競技委員会役員

<ジュリーメンバー>
T D：久慈 修
主 審：穴田慎一
副 審：伊藤幸治
競技委員長：横元信明

<運 営>
セクレタリー：江畑昌英
スタート係：穴田慎一
吉岡郁栄
ゴール係：湯下 大地
記録・計算：永田結子
横尾恵里
放 送：高塚 彩
榊原菜穂子
撮 影：近藤 洋

<審 査 員 SB>
主任審査員：出口 超
審 査 員：田中宏典
永田結子

<設 営>
一ノ瀬ファミリースキー場

<審 査 員 TM>
主任審査員：佐藤一臣
審 査 員：塚田洋平
小池穂高

<式典>
高塚 彩 榊原菜穂子
事務局

<審 査 員>
主任審査員：松居文智
審 査 員：山本 治
佐々木常念
久慈直子
栗原立人
藤本剛士
高本 稔
可児 徹

<救護>
一ノ瀬ファミリースキー場
パトロール

<事務局>
里中英二
町田知哉
鈴野絵理

第46期・第47期スノーボードデモンストレーター選考会
第46期・第47期テレマークスキーデモンストレーター選考会
SIAプロスキー教師コンテスト2024☒
競技委員会役員

<ジュリーメンバー>
T D：久慈 修
主 審：穴田慎一
競技委員長：栗原立人

<運 営>
セクレタリー：江畑昌英
スタート係：穴田慎一
可児 徹
ゴール係：湯下 大地
記録・計算：永田結子
藤本剛士
横尾恵里
放 送：高塚 彩
榊原菜穂子
撮 影：近藤 洋

<審 査 員 SB>
主任審査員：出口 超
審 査 員：田中宏典
永田結子

<設 営>
一ノ瀬ファミリースキー場

<審 査 員 TM>
主任審査員：佐藤一臣
審 査 員：塚田洋平
小池穂高

<式典>
高塚 彩 榊原菜穂子
事務局

<審 査 員 AP>
主任審査員：松居文智
審 査 員：山本 治
佐々木常念
久慈直子
藤本剛士

<救護>
一ノ瀬ファミリースキー場
パトロール

<事 務 局>
里中英二
町田知哉
鈴野絵理

第46期・第47期アルペンスキーデモンストレーター選考会

会員親善GSL (ISIAカード対応テスト)

<ジュリーメンバー>
T D:久慈 修
主 審:穴田慎一
競技委員長:横尾恵里

スタートレフリー:
佐々木常念
フィニッシュレフリー:
藤本剛士

セッター:山本 治

<運 営>
セクレタリー:江畑昌英
スタート係 :穴田慎一
ゴール係 :湯下 大地
記録・計算 :永田結子
横尾恵里
放 送 :高塚 彩
榊原菜穂子
撮 影 :近藤 洋

旗門員委員長:可児 徹
係員: 出口 超
田中宏典

<設 営>
一ノ瀬ファミリースキー場

コース係長:松居文智
係員: 佐藤一臣
塚田洋平
小池穂高
久慈直子

<式典>
高塚 彩 榊原菜穂子
事務局

<救護>
一ノ瀬ファミリースキー場
パトロール

<事務局>
里中英二
町田知哉
鈴野絵理

第46期・第47期SIAアルペンスキーデモンストレーター選考会

- 日 程:** 令和6年4月2日（火）～4日（木）
※4月1日（月）競技説明・テクニカルミーティング 本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。
- 参加資格:** < S I A 会員 >
①SIA正会員（アルペンスキー・ステージⅡ、Ⅲ、Ⅳの有資格者）
②今期までの会費納入（大会申込締切日までに納入）をした者。
< 新規入会者 >
①令和6年3月末までに支部実施のアルペンスキー・ステージⅡ検定会に合格し入会した者。
※申込締切以降に検定会を受検する場合も、締切を厳守すること。
その際、申込書の資格欄で「アルペンスキー・ステージⅡ受検予定」を選択すること。
- 注意事項:** 使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。
プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。
ヘルメットを着用すること。
GSL時には、クラッシュヘルメット（全ての部分がハードシェルで覆われている）を着用すること。
※G S L のコースセッティングは2021/22 F I S ルールに基づく（用具については上記の通り）
- 表 彰:** デモンストレーター認定者は表彰されます。
- 認定資格:** ①公認スキー学校に所属しているアルペンスキー・ステージⅢ以上の資格を有する正会員。
②学校長の推薦をうけ、公認校において1シーズン（冬季常設期間）30日（公認校の常設スキー場）以上の指導活動をし、
その証明書を申込時に提出している者。
③協力承諾書を提出している者。
④新ステージⅢの有資格者は同資格のままでは2期目の認定はされない。
但し、申込時点で上位資格の基礎理論検定または実技検定を受検後、1年以内は認定資格を満たしているものとする。（合否不問）
- そ の 他:** ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。
※採点方法:5審3採用(その場で得点を表示します)
※デモンストレーター認定にあたり、4月3日競技終了時の成績上位者に面談を行います。
4月3日17:00ホテルー乃瀨内予定。面談時の服装は平服で構いません。
男女合計最大14名を認定する。
ただし、ステージⅣから最大14名、ステージⅢから最大3名とする。
男子 最少 10名
・総合得点の1種目平均270点以上の者を対象に10名以上を認定する。
・総合得点の1種目平均270点以上の者が10名以下の場合は10名を認定する。
女子 最少 2名
・総合得点の1種目平均270点以上の者を対象に2名以上を認定する。
・総合得点の1種目平均270点以上の者が2名以下の場合は2名を認定する。
- ※上位入賞者でも、認定資格を満たしていない方はデモンストレーターに認定されません。
- ※GSLのタイムにより、SIAメダルペースメーカー認定が可能です。
条 件：アルペンスキー・ステージⅢ以上 男子110ポイント・女子 115ポイント以下
認定料：2,000円 ポイント確認・申請方法については、SIA事務局にお問合せください。

【着眼点】

ショートターン

- ・スピード、リズムに調和した重心移動の中で状況に合わせたスキー操作を行う
- ・適度な外向傾姿勢による捻りとひねり戻しを用いる
- ・下肢主要3関節を使った両脚同時操作でスピードのある深いターン弧を描く

シュテムターン

- ・基本的な上下動をベースに初・中級者に対応したスピードとずれ幅を考慮した操作を行う
- ・引き寄せのタイミングはフォールライン以降とし滑らかなスキー操作を行う
- ・ストックの使用は有とする

ショートターン(ステージⅡ・Ⅲレベル)

- ・中級者向けのレッスンで行うショートターンをイメージし、一定のリズムとスピードを保つ
- ・適度な上下動を用い、伸身運動での操作を行う
- ・ストックの使用は有りとする

ロングターン

- ・スピードをコントロールした中でのスキーの滑走性を用いた高速ターン
- ・基本姿勢を重視した、ターン前半の重心移動によるエッジの切りかえとターンコントロール(回し込み)

総合滑降

- ・斜面上部をロングターン 中部をショートターン 下部をミドルターンとする
- ・種目変化によるスピードの急激な変化のないようにする
- ・積極的なスキー操作を行う

ロングターン・伸身～屈伸

- ・上部は伸身運動、下部を屈伸運動での切り換え操作とする
- ・両操作とも適度なズレ幅のあるターンをする
- ・両脚同時操作でスムーズなターンを行う
- ・ストックは使用すること

G S L (2走1採用)

- ・2走目を滑走をしたものは2走目の成績を採用する。DQ(不通過判定、失格判定)も含むものとする。
- ・FISルールに沿った旗門設定・クラッシュメット着用、スキーレギュレーションなし
- ・スタートは前日までの順位順とする
- ・ラップタイムを出した者には、275点を与える
以下ラップタイムに遅れること0.9%ごとにマイナス 1点とする
- ・完走者の最低点は235点、不通過者・未完走者230点とする

ショートターン(不整地)

- ・ランダムな状況に適応する為の屈伸運動と伸身運動の応用を織り交ぜる
- ・適度な回し込みを用い滑らかな丸い弧で滑る
- ・スピードコントロールがされていること

第46期・第47期SIAスノーボードデモンストレーター選考会

日程: 令和6年4月3日(水)～4日(木)

※4月2日(火)競技説明・テクニカルミーティング 本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。

参加資格: <SIA会員>

- ①SIA正会員(スノーボード・ステージⅡ、Ⅲ、Ⅳの有資格者)
- ②今期までの会費納入(大会申込締切日までに納入)をした者。

<新規入会者>

- ①令和6年3月末までに支部実施のスノーボード・ステージⅡ検定会に合格し入会した者。
※申込締切以降に検定会を受検する場合も、締切を厳守すること。
その際、申込書の資格欄で「スノーボード・ステージⅡ受検予定」を選択すること。

注意事項: 使用するボードの台数は制限なし。

各種目とも使用するボードの種類(アルペン・フリースタイル)の選択は自由。

ヘルメットを着用すること。

表彰: デモンストレーター認定者は表彰されます。

認定資格: ①公認スキー学校に所属しているスノーボード・ステージⅢ以上の資格を有する正会員。

②学校長の推薦をうけ、公認校において1シーズン(冬季常設期間)30日(公認校の常設スキー場)以上の指導活動をし、その証明書を申込時に提出している者。

③協力承諾書を提出している者。

その他: ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。

※採点方法: 3審3採用

※デモ認定者: 2名(予定)認定者数は選手会で発表する。

※女子枠については、申し込み状況を踏まえて、選手会で決定する。

※上位入賞者でも、認定資格を満たしていない方はデモに認定されません。

※デモンストレーター認定にあたり、4月3日競技終了時の成績上位者に面談を行います。
4月3日17:00ホテル乃瀬内予定。面談時の服装は平服で構いません。

【着眼点】

カービングターン

- ・斜面状況にあった、均一されたロングまたはミドルリズムのターンである
- ・ターンサイズはスピードをコントロールした中で、スノーボードの滑走性を重視した滑りであること
- ・ターン弧にあった積極的な重心移動を行っている
- ・流れのある動きと安定したボディーバランスである

総合滑降(リズム変化コンビネーション)

- ・スピードとキレのある、ロング、ミドル、ショート、スイッチ(フェイキー)ターンを構成の中に入れる
- ・コントロールされたボード操作と、積極的な演技構成
- ・斜度に対応した安定したボディーバランスである

フリースノーボーディング

- ・設定された中斜面を独創的なライディングの構成である
- ・スイッチライディング、グラウンドトリック等を駆使し、スノーボーディングの楽しさを表現している
- ・スピードの乗った、スノーボードの楽しさ流れの良い演技構成である

スライディングターンとカービングターン(滑り分け)

- ・均一されたロングまたはミドルリズムのターンで、斜面上部をスライディングターン。下部をカービングターンで滑る(目印あり)
- ・スライディングターンは、下肢関節を主体に、明確なボードのねじれを利用した切りかえ動作、カービングターンは、中斜面に適した、明確な重心移動を用いた切りかえ動作で、それぞれターンの質、スピード、リズム、運動を表現する

エアー

- ・安定した空中姿勢とランディングに合わせた着地をする
- ・クラブ及びシフトを駆使したスタイリッシュな空中姿勢を評価する
- ・横及び縦、または3D回転等及び、ワンフットエアーは評価しない

【エアー種目ができない場合の代替種目】

ハイオーリー

- ・助走をつけて、ボードの反発を利用しバーを(オーリーで)飛び越える。同じ高さのバーには2回挑戦することができ、2回とも失敗した場合はそこで種目終了。バーを越える前に、バーに触れてしまったり、体の一部が触れてしまったりした場合も記録として認められません。飛び越えた後の着地姿勢は問いません。
- ・バーの高さは、30cmから開始し、5cm刻みで高くする。同じ高さに2回挑戦する必要はありません。1回目に50cmを失敗しても、2回目をパスし、55cmに挑戦が可能。パスを選択することも可能。パスはその高さを飛ばないということとなる。もっとも高い高さのバーを飛んだ選手が種目1位とし、275点を与える同条件が複数いた場合は、その高さの失敗が少ない選手が上位となる。それでも同順位の場合は、全体の試技の失敗が少ない選手が勝者となる。それでも同位の場合は、同点とする。
- 尚、当種目については男女別に順位をつけるものとする。
- 2位以下の得点については、1位の高さ-5cmにつき-3点。同高さに失敗があった場合は、さらに-1点とし、順位別に得点をつける。
- 記録なしとなった場合はDQとし、230点とする。

ショートターン(不整地)

- ・コントロールされた積極的な滑りである
- ・安定したボディーバランスである
- ・雪面コンタクトを重視し、丸い弧を描いてターンをしている

SIAでは、アルペン・フリースタイルの両マテリアルを使いこなせるのが望ましいと考え、全ての種目のマテリアルの選択は自由としています。

各種目の着眼点を理解し、種目の特性にあわせ、戦略と責任を持ってマテリアル選択を行って下さい。

第46期・第47期SIAテレマークスキーデモンストレーター選考会

日程： 令和6年4月3日（水）～4日（木）

参加資格： <SIA会員>

- ①SIA正会員（テレマークスキー・ステージⅡ、Ⅲ、Ⅳの有資格者）
- ②今期までの会費納入（大会申込締切日までに納入）をした者。

<新規入会者>

- ①令和6年3月末までに支部実施のテレマークスキー・ステージⅡ 検定会に合格し入会した者。
※申込締切以降に検定会を受検する場合も、締切を厳守すること。
その際、申込書の資格欄で「テレマークスキー・ステージⅡ 受検予定」を選択すること。

注意事項： 使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。

プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。

ヘルメットを着用すること。

表彰： デモンストレーター認定者は表彰されます。

認定資格： ①公認スキー学校に所属しているテレマークスキー・ステージⅢ以上の資格を有する正会員。

②学校長の推薦をうけ、公認校において1シーズン（冬季常設期間）30日（公認校の常設スキー場）以上の指導活動をし、

③協力承諾書を提出している者。

その他： ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。

※採点方法：3審3採用

※デモ認定者：2～3名（予定）認定者数は選手会で発表する。

※女子枠については、申し込み状況を踏まえて、選手会で決定する。

※上位入賞者でも、認定資格を満たしていない方はデモに認定されません。

※デモンストレーター認定にあたり、4月3日競技終了時の成績上位者に面談を行います。

4月3日17:00ホテルー乃瀬内予定。面談時の服装は平服で構いません。

【着眼点】

スーパーロングテレマークターン

- ・スピーディで安定感がある。
- ・適切なテレマークポジションで、ターンをコントロールしている。
- ・エッジを使ったキレのあるターン弧である。
- ・積極的である。
- ・左右差が無い。

スーパーショートテレマークターン

- ・スピーディで安定感がある
- ・適切なテレマークポジションで、ターンをコントロールしている。
- ・リズムカルでエッジを使ったキレのあるターン弧である。
- ・左右差が無い。
- ・ストックワークが適切である。

フリー滑走

- ・スピーディーで安定感がある。
- ・ターン弧の大きさの違いが明確である。
- ・適切なテレマークポジションでターンをコントロールしている。
- ・エッジを使ったキレのあるターン弧である。
- ・独創性がある。
- ・積極的である。

ブルークテレマークターンとシュテムテレマークターン（滑り分け）

- ・適切で自然な上下動を使っている。
- ・テレマークポジションに移行するタイミングが適切である。
- ・適正なテレマークポジションでターンをコントロールしている。
- ・滑り分けが明確である。
- ・ターン弧やスピードが適切である。
- ・シュテムテレマークターンではストックを使用している。

ベーシックロングテレマークターンとテレマークターン（滑り分け）

- ・それぞれ適切な運動でターンを切りかえている。
- ・脚の入れかえとエッジの切りかえが、適切である。
- ・適正なテレマークポジションでターンをコントロールしている。
- ・滑り分けが明確である。
- ・ターン弧やスピードが適切である。
- ・適正なタイミングのストックワークである。

不整地ショートテレマークターン

- ・スピーディーで安定感がある。
- ・適正なテレマークポジションでターンをコントロールしている。
- ・フォールラインに沿ってターンしている。
- ・適正なタイミングのストックワークである。

SIAプロスキー教師コンテスト2024

日 程: 令和6年4月3日(水)
※4月2日(火) 競技説明・テクニカルミーティング 本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。

参加資格: < S I A 会員 >
①SIA正会員 (アルペンスキー・ステージⅡ、Ⅲ、Ⅳの有資格者)
②今期までの会費納入 (大会申込締切日までに納入) をした者。
< 新規入会者 >
①令和6年3月末までに支部実施のアルペンスキー・ステージⅡ検定会に合格し入会した者。
※申込締切以降に検定会を受検する場合も、締切を厳守すること。
その際、申込書の資格欄で「アルペンスキー・ステージⅡ受検予定」を選択すること。

注意事項: 使用するスキーの台数は1台、長さ、プレートの高さは制限なし。
プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。
ヘルメットを着用すること。

表 彰: 上位10名 (男女別)
そ の 他: ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。
※採点方法:5審3採用(その場で得点を表示します)
参加者はコース整備等運営への協力をお願いします。

【着眼点】

シュテムターン

- ・基本的な上下動をベースに初・中級者に対応したスピードとずれ幅を考慮した操作を行う
- ・引き寄せのタイミングはフォールライン以降とし滑らかなスキー操作を行う
- ・ストックの使用は有とする

ショートターン(ステージⅡ・Ⅲレベル)

- ・中級者向けのレッスンで行うショートターンをイメージし、一定のリズムとスピードを保つ
- ・適度な上下動を用い、伸身運動での操作を行う
- ・ストックの使用は有りとする

ロングターン・伸身～屈伸

- ・上部は伸身運動、下部を屈伸運動での切り換え操作とする
- ・両操作とも適度なズレ幅のあるターンをする
- ・両脚同時操作でスムーズなターンを行う
- ・ストックは使用すること

第6回SIAジュニアスキー技術コンテスト

会場 長野県・志賀高原一の瀬スキー場

日程: 令和6年4月2日(火)

※4月1日(月) 競技説明・テクニカルミーティング 本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。

参加資格: アルペンスキー愛好者

(1)大会参加に保護者の承認を得た者。

(2)スポーツ傷害保険または、これに準じる保険に加入している者。

競技種目: ショートターン、ミドルターン、コンビネーション

部門: 小学生低学年(1~3年)の部 男女

小学生高学年(4~6年)の部 男女

中学生の部 男女

高校生の部 男女

注意事項: 使用するスキーの台数、長さ、プレートの高さは制限なし。

プレートは市販の物を使用すること。自作プレートの使用は認めない。

ヘルメットを着用すること。

表彰: 表彰は上位3名(部門別)までとします。

その他: ※競技の進行状況によって、時間の変更がある場合がありますのでご了承下さい。

※採点方法: 3審3採用(その場で得点を表示します)

【着眼点】

ショートターン

- ・スピード、リズムに調和した重心移動の中で状況に合わせたスキー操作を行う
- ・適度な外向傾姿勢による捻りとひねり戻しを用いる
- ・下肢主要3関節を使った両脚同時操作でスピードのある深いターン弧を描く

ミドルターン

- ・一定のスピード、リズムに調和した重心移動の中で状況に合わせたスキー操作を行う
- ・スピードをコントロールした中でのスキーの滑走性を用いたターンを演じる
- ・ストックを使用する

コンビネーション

- ・ショートターンとミドルターンを決められたターン数で滑走する(例:ミドル4ターン/ショート6ターンの繰り返し)
- ・積極的なスキー操作の中でターン弧、スピード、リズムを一定とする
- ・切り換え操作は自由とし、ストックは使用する

■会員親善GSL (ISIAカード対応)

【期 日】令和6年4月4日(木)

【表彰式】13:30～ 成績発表

※成績発表等について、
下記の様に予定しています。

- ・リザルトをSIA公式ウェブサイト掲載。
- ・表彰対象選手はSIAフェスティバル本部にて受取。
- ・ゼッケンはゴールエリアで回収。

※今大会の参加費の一部は、チャリティー募金として積み立てをいたします。

【部 門】アルペンスキー:

男子60歳以上の部、50歳代の部、40歳代の部、30歳代の部、20歳代の部
女子の部、学校対抗の部

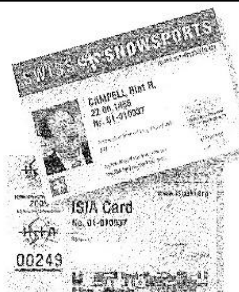
【注 意 事 項】・クラッシュヘルメット(全ての部分がハードシェルで覆われている)を着用すること。
・天候等の状況により中止の場合が御座います。

【そ の 他】会員親善GSLのタイムにより、SIAメダルペースメーカー認定が可能です。
条 件:アルペンスキー・ステージⅢ以上 男子110ポイント・女子 115ポイント以下
認定料:2,000円 ポイント確認・申請方法については、SIA事務局にお問合せください。

ISIAカードについて

インターナショナルに通じる世界共通のスキー教師ライセンス「ISIAカード」は、ISIAが加盟するISIA A(国際スキー教師連盟)が認定している、国際的に通用するスキー教師のライセンスです。このカードを持つことで、ISIA加盟39ヶ国での円滑なスキー教師活動が可能になります。

日本でISIAカード資格を受検できるのは、ISIAのステージⅢ所持者に限られます。そして、資格取得のため



に実際に行われるのが「ISIA技術テスト」です。このテスト

は、GSと安全講習会からなり、重視されているのはGSの結果です。GSはFISポイント50前後を所持する複数のスキーヤーをペースメーカーとし、標高差250〜400m、滑走タイム約50秒プラスマイナス10%のコースで行われます。ペースメーカーは前走と後走を務め、その平均タイムを基準タイムとし、受検者はその基準タイムに対して男子で12.5%以内、女子で17.5%以内のタイムで滑ることが求められます。また、安全講習ではオフピステでのスキーツアーを安全に誘導し、必要に応じて救助や救急法などを施すことが試されます。

S I A アルペンスキーデモンストレーター選考会・SIAプロスキー教師コンテスト

S I A スノーボードデモンストレーター選考会・ジュニアスキー技術コンテスト

S I A テレマークスキーデモンストレーター選考会・会員親善GSL

[選手会及び開会式]

第1条

選手会で、選考種目・種目別技術要領の最終決定を行うものとする。

[競技委員会及びTD]

第2条

競技委員会が選手権及び選考会全体の運営を行うものとする。

テクニカル・デレゲイト（以下TD）が、競技種目の決定及びジャッジの選出を行う。

[ドロー]

第3条

選手のゼッケン番号は競技委員会による抽選で決定し、競技種目別にスタート順はローテーションを行う。

[スタート]

第4条

- 1 選手はスタート係による出発点呼を受けなければならない。
出発合図によって、選手はすみやかにスタートしなければならない。
不当な遅延または遅刻は当該種目を棄権と見做し、総合得点180点を与える。
- 2 スタート審判が止むを得ない遅刻と判断したら、TDに報告し、その遅刻を許してもよい。
例えば、個人の用具の故障、もしくは天候の急変等による不可抗力によるものとする。
- 3 スタート・エリアには、スタートする選手とスタート関係役員以外立ち入る事ができない。
スタート・エリアはポールとフラッグによって表示する。

[演技の中断及び途中棄権]

第5条

- 1 演技を中断した場合は、その位置から再演技を行う。
ただし、態勢回復に著しく時間を要する場合はTDの判断に従う。
- 2 演技の中断に伴うスキー用具の離脱については、競技役員又は観戦者の援助を受けることができる。
- 3 途中棄権の場合はその意思表示を速やかに行い、ピステ外に出るものとする。

[フィニッシュ]

第6条

- 1 フィニッシュ・エリア内で、選手は両方のスキーまたは片方のスキーをつけた状態で停止しなければならない。また、ストックの有無は問わない。
フィニッシュ・エリアはポールとフラッグおよびネットによって表示する。

[抗議]

第7条

- 1 得点に関する抗議は、事務的問題以外一切受け付けない。
- 2 競技内容又は運営に関する抗議はTDに対して行う。TDは競技委員長と協議し決定を行う。
抗議は、競技中または演技終了後5分以内とする。

[競技延期・中止等]

第8条

- 1 天候等不可抗力による競技延期又は中止等の決定は、競技委員長がこれを行う。
- 2 その他予期せぬ事項に関しては、競技委員長の判断による。

規則

[選手会及び開会式]

第1条

選手会で、選考種目・種目別技術要領の最終決定を行うものとする。

[競技委員会及びTD]

第2条

競技委員会が選手権及び選考会全体の運営を行うものとする。

テクニカル・デレゲイト（以下TD）が、競技種目の決定及びジャッジの選出を行う。

[ドロー]

第3条

選手のゼッケン番号は競技委員会による抽選で決定し、競技種目別にスタート順はローテーションを行う。

[スタート]

第4条

- 1 選手はスタート係による出発点呼を受けなければならない。
出発点図によって、選手はすみやかにスタートしなければならない。
不当な遅延または遅刻は当該種目を棄権と見做し、総合得点180点を与える。
- 2 スタート審判が止むを得ない遅刻と判断したら、TDに報告し、その遅刻を許してもよい。
例えば、個人の用具の故障、もしくは天候の急変等による不可抗力によるものとする。
- 3 スタート・エリアには、スタートする選手とスタート関係役員以外立ち入る事ができない。
スタート・エリアはポールとフラッグによって表示する。

[演技の中断及び途中棄権]

第5条

- 1 演技を中断した場合は、その位置から再演技を行う。
ただし、態勢回復に著しく時間を要する場合はTDの判断に従う。
- 2 演技の中断に伴うスノーボード用具の離脱については、競技役員又は観戦者の援助を受けることができる。
- 3 途中棄権の場合はその意思表示を速やかに行い、ピステ外に出るものとする。

[フィニッシュ]

第6条

- 1 フィニッシュ・エリア内で、選手はスノーボードを両脚につけた状態で停止しなければならない。
フィニッシュ・エリアはポールとフラッグおよびネットによって表示する。

[抗議]

第7条

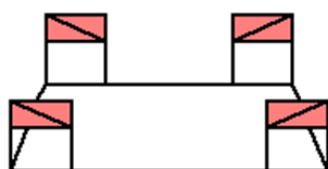
- 1 得点に関する抗議は、事務的問題以外一切受け付けない。
- 2 競技内容又は運営に関する抗議はTDに対して行う。TDは競技委員長と協議し決定を行う。
抗議は、競技中または演技終了後5分以内とする。

[競技延期・中止等]

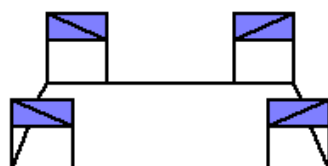
第8条

- 1 天候等不可抗力による競技延期又は中止等の決定は、競技委員長がこれを行う。
- 2 その他予期せぬ事項に関しては、競技委員長の判断による。

スタート
(レッド)



ゴール
(ブルー)



SIAアルペンスキーデモンストレーター選考会
SIAスノーボードデモンストレーター選考会
SIAテレマークスキーデモンストレーター選考会
ジュニアスキー技術コンテスト

会 場 /長野県・一ノ瀬ファミリースキー場

4月1日(月)			
17:00~18:00	APデモ選 プロスキー教師コンテスト JRコンテスト	競技説明・テクニカルミーティング WEBミーティング (ZOOM使用) ※本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。 ※出席しない選手の異議は認めません。 ※欠席の場合は、事前にSIA事務局にメールかFAXでお知らせください。 ※ゼッケン配布 ホテル一ノ瀬にて 4月1日(月) 15:00~19:00 または 4月2日(火) 8:00~ 8:30	
4月2日(火)			
※前日の競技説明・テクニカルミーティング欠席等でゼッケンを受け取っていない方は、大会当日8:30までにSIAフェスティバル本部(ホテル一ノ瀬内)で受け取ってください。			
9:00~9:20	APデモ選 JRコンテスト	インスペクション	急斜面・整地
9:40~11:10	APデモ選	総合滑降	
	JRコンテスト	ショートターン	
11:10~12:40	APデモ選	ロングターン	
	JRコンテスト	ミドルターン	
13:00~13:20	APデモ選 JRコンテスト	インスペクション	
13:40~15:10	APデモ選	ショートターン	
	JRコンテスト	コンビネーション	
17:00	JRコンテスト	成績発表 および 表彰式	ホテル一ノ瀬 5F「コンベンションホール」
17:00~18:00	プロスキー教師コンテスト SBデモ選 TMデモ選	競技説明・テクニカルミーティング WEBミーティング (ZOOM使用) ※本人または代理人が出席することを推奨します。欠席しても失格とはなりません。 ※出席しない選手の異議は認めません。 ※欠席の場合は、事前にSIA事務局にメールかFAXでお知らせください。 ※ゼッケン配布 ホテル一ノ瀬にて 4月2日(火) 15:00~19:00 または 4月3日(水) 8:00~ 8:30	

4月3日(水)			
※前日の競技説明・テクニカルミーティング欠席等でゼッケンを受け取っていない方は、大会当日8:30までにSIAフェスティバル本部（ホテルー乃瀬内）で受け取ってください。			
9:00～9:20	TMデモ選	インスペクション	急斜面(中斜面)・整地
	APデモ選兼ブロスキー教師コンテスト	インスペクション	中斜面～緩斜面・整地
9:00～9:20	SBデモ選	インスペクション	パーク
9:40～10:45	TMデモ選	フリー滑走	急斜面(中斜面)・整地
	APデモ選兼ブロスキー教師コンテスト	シュテムターン	中斜面～緩斜面・整地
9:40～10:45	SBデモ選	エアー	パーク
11:05～11:25	APデモ選兼ブロスキー教師コンテスト	インスペクション	中斜面～緩斜面・整地
11:05～11:25	SBデモ選	インスペクション	中斜面・整地
	TMデモ選	インスペクション	
11:45～13:05	APデモ選兼ブロスキー教師コンテスト	ロングターン・伸身～屈伸	中斜面～緩斜面・整地
	SBデモ選	スライディングターンとカービングターン(滑り分け)	中斜面・整地
	TMデモ選	ベーシックロングテレマークターンとロングテレマークターン(滑り分け)	中斜面・整地
13:25～16:00	APデモ選兼ブロスキー教師コンテスト	ショートターン(ステージⅡ・Ⅲレベル)	中斜面・整地
	SBデモ選	フリースノーボーディング	
	TMデモ選	プルークテレマークターンとシュテムテレマークターン(滑り分け)	
17:30	ブロスキー教師コンテスト	成績発表 および 表彰式	ホテルー乃瀬 5F「コンベンションホール」
18:30		面談(デモンストレーター選考会上位選手)	ホテルー乃瀬 内
	会員親善GSL	※ゼッケン配布 ホテルー乃瀬にて 4月3日(水)15:00～19:00 または 4月4日(木)7:00～7:30	

4月4日(木)			
※会員親善GSLのゼッケンは大会当日7:30までにSIAフェスティバル本部（ホテルー乃瀨内）で受け取ってください。			
8:00～8:30	会員親善GSL	インスペクション	急斜面・整地
	APデモ選		
9:00～10:45	会員親善GSL	GSL(1走1採用)	急斜面・整地
	APデモ選	GSL(2走1採用)	
9:30～9:50	TMデモ選	インスペクション	急斜面・整地
10:10～10:30	SBデモ選	総合滑降(リズム変化コンビネーション)	
	TMデモ選	スーパーショートテレマークターン	
10:50～11:10	SBデモ選	インスペクション	急斜面・整地
11:30～12:30	SBデモ選	カービングターン	急斜面・整地
	TMデモ選	スーパーロングテレマークターン	
12:30～12:50	APデモ選	インスペクション	急斜面・不整地
	SBデモ選		
13:10～14:40	TMデモ選	ショートターン(不整地)	急斜面・不整地
	SBデモ選	ショートターン(不整地)	
13:30	TMデモ選	応用 不整地ショートテレマークターン	急斜面・不整地
	会員親善GSL	成績発表 ※成績発表等について、 下記の様に予定しています。 ・リザルトをSIA公式ウェブサイト掲載。 ・表彰対象選手はSIAフェスティバル本部にて受取。 ・ゼッケンはゴールエリアで回収。	
16:00～16:30	APデモ選 SBデモ選 TMデモ選	理事会(審議事項:デモンストレーター認定について)	ホテルー乃瀨 内
17:00	APデモ選 SBデモ選 TMデモ選	成績発表 および 表彰式	ホテルー乃瀨 5F「コンベンションホール」

※種目及び斜面は予定であり、積雪量・コース整備・天候等の状況により種目の変更する場合があります。最終種目は選手会で決定します。

※大会名

APデモ選 = アルペンスキーデモンストレーター選考会

プロスキー教師コンテスト = SIAプロスキー教師コンテスト

JRコンテスト = ジュニアスキー技術コンテスト

SBデモ選 = スノーボードデモンストレーター選考会

TMデモ選 = スノーボードデモンストレーター選考会

会員親善GSL = 会員親善GSL

4月4日

第6回SIAジュニアスキー技術コンテスト

小学生低学年（1～3年生）の部 女子		
	Bib	名前
1	1	横溝 唯
2	2	山中 優里奈
3	3	荻野 瑚桃
4	4	升澤 結萌

小学生低学年（1～3年生）の部 男子		
	Bib	名前
1	5	大江 功造
2	6	新井 陵介
3	7	坂本 遼河
4	8	大木 望凧

小学生高学年（4～6年生）の部 男子		
	Bib	名前
1	9	大江 龍平
2	10	宮崎 志穂
3	11	横溝 琉生
4	12	石田 悠慎

中学生の部 女子		
	Bib	名前
1	13	浦部 まほ
2	14	中尾 日陽

中学生の部 男子		
	Bib	名前
1	15	宮崎 玲穂
2	16	小川 友雪
3	17	石橋 輝
4	18	青山 凌大

高校生の部 女子		
	Bib	名前
1	19	篠崎 聖里

高校生の部 男子		
	Bib	名前
1	20	滝 然理
2	21	竹内 ハヤト

4/3

SIAプロスキー教師コンテスト

女子

	Bib	名前	性別	資格	所属校
1	23	平田 里華	女	Alpine III	ブロッサムスキー・スノーボード・スクール
2	24	川辺 貴子	女	Alpine IV	ハツカ石スキー & スノーボード・スクール
3	25	石山 亜希実	女	Alpine IV	Fine Glide
4	26	浦窪 巳樹	女	Alpine IV	安比スキー & スノーボード・スクール
5	27	三代川 実樹	女	Alpine II	中里スノウッド・スキー・スクール
6	28	福田 咲	女	Alpine IV	シュワルツスキー・スクール
7	29	早川 晴己	女	Alpine IV	ヨーテルスキー・学校
8	30	佐々木 千秋	女	Alpine II	ブロッサムスキー・スノーボード・スクール
9	31	宇南山 智子	女	Alpine III	AIZU ウインター・スクール

4/2~4

第46期・第47期アルペンスキーデモンストレーター選考会

女子

	Bib	名前	性別	資格	所属校	認定資格
1	32	北村 祥子	女	Alpine IV	富井スキー・スクール	○
2	33	三竹 はるみ	女	Alpine IV	戸隠フランススキー・学校	○
3	34	岡田 里菜	女	Alpine IV	ジヤムブ・ロスキー・スクール	○
4	35	吉村 有希菜	女	Alpine IV	ブロッサムスキー・スノーボード・スクール	○
5	36	木村 夏海	女	Alpine IV	安比スキー & スノーボード・スクール	○
6	37	阿部 理沙	女	Alpine IV	スクエアスキー・レッスン	○
7	38	小上 理恵	女	Alpine IV	木島平ブ・ロスキー・スクール	○
8	39	塩野 智子	女	Alpine III	安比スキー & スノーボード・スクール	○

4/3

SIAプロスキー教師コンテスト

男子

	Bib	名前	性別	資格	所属校
1	40	牛島 寛雄	男	Alpine IV	九重ブ・ロスキー・スクール
2	41	藤城 昌史	男	Alpine II	ブロッサムスキー・スノーボード・スクール
3	42	児玉 栄一	男	Alpine IV	安比スキー & スノーボード・スクール
4	43	池田 進	男	Alpine IV	石打ブ・ロスキー・スクール
5	44	佐々木 光雄	男	Alpine IV	ブロッサムスキー・スノーボード・スクール
6	45	山中 敦	男	Alpine IV	くりやまスノー・スクール
7	46	近藤 剛	男	Alpine IV	オーストリアスキー・教室 シーサイド・パレー
8	47	藤岡 正吾	男	Alpine III	ブロッサムスキー・スノーボード・スクール
9	48	木島 信彦	男	Alpine IV	北志賀ブ・ロスキー・学校
10	49	塩澤 一哲	男	Alpine IV	尾瀬パ・ラルスキー・スクール
11	50	守田 耕治	男	Alpine IV	ブロッサムスキー・スノーボード・スクール
12	51	新國 寿和	男	Alpine II	AIZU ウインター・スクール

13	52	北村 芳則	男	AlpineⅣ	北村スノースポーツスクール
14	53	林 淳一	男	AlpineⅢ	舞子プロスキースクール
15	54	小林 貫太	男	AlpineⅣ	プロッサムスキー・スノーボードスクール
16	55	荒川 和人	男	AlpineⅣ	タホースノースクール
17	56	田井 健太郎	男	AlpineⅣ	軽井沢スキー&スノーボードスクール
18	57	森川 敬介	男	AlpineⅣ	杉山スキー & スノースポーツスクール
19	58	竹井 克己	男	AlpineⅢ	サニープロスキースクール
20	59	伊藤 高之	男	AlpineⅡ	オーストリアスキー教室 シーサイドパレ
21	60	古川 龍一	男	AlpineⅣ	ヘブンスそのはらプロスキースクール
22	61	前田 有史	男	AlpineⅢ	水上高原プロスキースクール&キッズアカデミー
23	62	播摩 幸彦	男	AlpineⅢ	菅平サクラメント・スキースクール

4/2~4

第46期・第47期アルペンスキーデモンストラーター選考会

男子

	Bib	名前	性別	資格	所属校	認定資格
1	63	大枝 翼	男	AlpineⅡ	小樽天狗山スキースクール	
2	64	村島 亮介	男	AlpineⅢ	妙高プロスキースクール	○
3	65	難波 勇吉	男	AlpineⅢ	Hakuba 47 スキーアカデミー	○
4	66	飯沼 勇樹	男	AlpineⅣ	オーストリアスキー教室 山形赤倉	○
5	67	奥村 哲也	男	AlpineⅣ	ヘブンスそのはらプロスキースクール	○
6	68	井村 正章	男	AlpineⅣ	Hakuba 47 スキーアカデミー	○
7	69	藤原 友範	男	AlpineⅣ	高天ヶ原 SKIWI SKI SCHOOL	○
8	70	杉田 海	男	AlpineⅡ	オーストリアスキー教室 シーサイドパレ	
9	71	松葉 陽祐	男	AlpineⅣ	Fine Glide	○
10	72	石井 洋	男	AlpineⅣ	北村スノースポーツスクール	○
11	73	北見 優	男	AlpineⅣ	マミ・スキースクール	○
12	74	中村 真大	男	AlpineⅣ	ウェルネス スノースクール	○
13	75	庄司 弘樹	男	AlpineⅢ		
14	76	野田 隆弘	男	AlpineⅣ	杉山スキー & スノースポーツスクール	○
15	77	宮根 貴彦	男	AlpineⅣ	高天ヶ原 SKIWI SKI SCHOOL	○
16	78	古谷 正臣	男	AlpineⅣ	インカルプロスキースクール	○
17	79	西 颯太	男	AlpineⅣ	サクラメント・プロスキースクール	○
18	80	長尾 岳人	男	AlpineⅢ	杉山スキー & スノースポーツスクール	○
19	81	鶴井 智之	男	AlpineⅣ	鶴井スキースクール	○
20	82	松澤 聖	男	AlpineⅣ	安比スキー & スノーボードスクール	○
21	83	吉田 直矢	男	AlpineⅣ	水上高原プロスキースクール&キッズアカデミー	○
22	84	水上 昇	男	AlpineⅣ	妙高プロスキースクール	○
23	85	伊藤 匠	男	AlpineⅡ	オーストリアスキー教室 シーサイドパレ	
24	86	小原 健汰	男	AlpineⅣ	月山プロスキースクール	○
25	87	長谷川 勝彦	男	AlpineⅣ	ジヤムプロスキースクール	○
26	88	佐伯 敏	男	AlpineⅣ	JAPANジュニアスキーアカデミー	○
27	89	小林 駿	男	AlpineⅢ	オーストリアスキー教室 シャルマン火打	○

28	90	谷藤 昌司	男	Alpine III	ジヤムプ ロスキースクール	
29	91	富 嶺央	男	Alpine II	なかにしスキー塾	
30	92	山岸 聖	男	Alpine IV	中里スノーウッド スキースクール	○
31	93	岡本 大樹	男	Alpine IV	ヨーテ ルスキー学校	○
32	94	木村 信貴	男	Alpine IV	なかにしスキー塾	○

4/3～4

第46期・第47期スノーボードデモンストレーター選考会

	Bib	名前	性別	資格	所属校	認定資格
1	95	小出 敏行	男	Snowboard IV	ウェルネス スノースクール	○
2	96	佐々木 優	男	Snowboard III	舞子ブ ロスキースクール	○
3	97	李 京卓	男	Snowboard II	杉山スキー & スノースポーツスクール	
4	98	仁井田 薫	女	Snowboard IV	マイアスキーアカデミー	○
5	99	横尾 浩希	男	Snowboard IV	Naturance SNOWworks	○
6	100	藤井 耕司	男	Snowboard IV	マイアスキーアカデミー	○
7	101	秋山 慎太郎	男	Snowboard II	Wing Pro Ski School	
8	102	國井 理裕	男	Snowboard IV	MZ白石スノースポーツスクール	○

4/3～4

第46期・第47期テレマークスキーデモンストレーター選考会

	Bib	名前	性別	資格	所属校	認定資格
1	103	上野 英孝	男	Telemark IV	三浦雄一郎&スノードルフィンスキースクール 札幌	○
2	104	秋山 紗英子	女	Telemark II	Wing Pro Ski School	
3	105	岩本 光司	男	Telemark II	Gスキーアカデミー	
4	106	伊藤 陸	男	Telemark III	Wing Pro Ski School	○
5	107	入倉 庸仁	男	Telemark IV	オーストリアスキー教室 シャルマン火打	○

4月4日

会員親善GSL

60歳以上の部 男子

	Bib	名前
1	108	長谷川 雅範
2	109	阿久津 博昭

50代の部 男子

	Bib	名前
1	110	李 英豪
2	111	片岡 一宏
3	112	高野 恒一郎
4	113	森川 敬介
5	114	高橋 裕之

40代の部 男子

	Bib	名前
1	115	伊藤 高之
2	116	田井 健太郎

30代の部 男子

	Bib	名前
1	117	Allison Guy

スタート順

アルペンスキーデモンストレーター選考会・SIAプロスキー教師コンテスト2024

	デモンストレーター選考会 女子								
4月2日 総合滑降	32 ~ 39								
ロングターン	33 ~ 39	、	32						
ショートターン	34 ~ 39	、	32 ~ 33						
4月3日 シュテムターン	35 ~ 39	、	32 ~ 34	23 ~ 31					
ロングターン・伸身～屈伸	36 ~ 39	、	32 ~ 35	26 ~ 31	、	23 ~ 25			
ショートターン(ステージⅡ・Ⅲレベル)	37 ~ 39	、	32 ~ 36	29 ~ 31	、	23 ~ 28			
4月4日 GSL(2走1採用)									
ショートターン(不整地)	38 ~ 39	、	32 ~ 37						

前日までの総合成績の上位から。同点の場合はビブNO順。

	デモンストレーター選考会 男子								
4月2日 総合滑降	63 ~ 94								
ロングターン	68 ~ 94	、	63 ~ 67						
ショートターン	72 ~ 94	、	63 ~ 71						
4月3日 シュテムターン	77 ~ 94	、	63 ~ 76	40 ~ 62					
ロングターン・伸身～屈伸	81 ~ 94	、	63 ~ 80	48 ~ 62	、	40 ~ 47			
ショートターン(ステージⅡ・Ⅲレベル)	86 ~ 94	、	63 ~ 85	56 ~ 62	、	40 ~ 55			
4月4日 GSL(2走1採用)									
ショートターン(不整地)	90 ~ 94	、	63 ~ 89						

前日までの総合成績の上位から。同点の場合はビブNO順。

ジュニアスキー技術コンテスト

	小学生低学年(1～3年)の部	女子		男子					
4月2日 ショートターン		1 ~ 4		5 ~ 8					
ミドルターン		2 ~ 4	、	6 ~ 8	、	5			
コンビネーション		3 ~ 4	、	7 ~ 8	、	5 ~ 6			
	小学生高学年(4～6年)の部			男子					
4月2日 ショートターン				9 ~ 12					
ミドルターン				10 ~ 12	、	9			
コンビネーション				11 ~ 12	、	9 ~ 10			
	中学生の部	女子		男子					
4月2日 ショートターン		13 ~ 14		15 ~ 18					
ミドルターン		14 ~ 13		16 ~ 18	、	15			
コンビネーション		13 ~ 14		17 ~ 18	、	15 ~ 16			
	高校生の部	女子		男子					
4月2日 ショートターン		19		20 ~ 21					
ミドルターン		19		21	、	20			
コンビネーション		19		20 ~ 21					

スノーボードデモンストレーター選考会

4月3日 エアー	95 ~ 102								
スライディングターンとカービングターン(滑り分け)	96 ~ 102	、	95						
フリースノーボーディング	97 ~ 102	、	95 ~ 96						
4月4日 総合滑降(リズム変化コンビネーション)	99 ~ 102	、	95 ~ 98						
カービングターン	100 ~ 102	、	95 ~ 99						
ショートターン(不整地)	101 ~ 102	、	95 ~ 100						

テレマークスキーデモンストレーター選考会

4月3日 フリー滑走	103 ~ 107								
ベーシックロングテレマークターンとロングテレマークターン(滑り分け)	104 ~ 107	、	103						
ブルークテレマークターンとシュテムテレマークターン(滑り分け)	105 ~ 107	、	103 ~ 104						
4月4日 スーパーショートテレマークターン	106 ~ 107	、	103 ~ 105						
スーパーロングテレマークターン	107	、	103 ~ 106						
応用 不整地ショートテレマークターン	103 ~ 107								

会員親善GSL

4月4日 GSL(1走1採用)	108 ~ 117								
-----------------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--